

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	やどりぎ		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 10月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 10月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	9ヶ所	(回答数) 9ヶ所
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先の学校園の考えや思いを尊重し、寄り添って対応することができる。	傾聴を大切にしながら、学校園の取り組みへの理解を深めようと努力している。	今後も学校園の考えを大切にしながら、協力し合って幼児・児童の支援にあたりたい。
2	訪問先での様子を事業所内の職員とも情報を共有し、訪問支援の支援や療育に取り入れることができる。	訪問先での様子を職員間で共有を行い、こどもの特性に合った支援方法を職員全員で考えていく。	保護者の方や、相談支援事業所を通して、他機関とも情報共有を行いより良い支援を行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問することで学校園での幼児・児童の課題や困りごとに即時対応が難しい。	月2回、1回、1時間の中で学校園と、幼児・児童の関係や適切な取り組みかどうかの見極めが難しい。	日頃の様子などもさらに詳しく学校園と保護者にも聞きながら適切な助言を行っていきたい。
2	保護者からのニーズと訪問支援員の人員の数があっていない。	職員配置などが難しいところがある。	人員の確保を行うと共に、訪問支援員と同行を行い訪問先との関係を築いていく。
3			